



まんぷく通信

「子どもの家」の子どもたちと楽しい時間を過ごしました



2010年8月22日、スタディツアーでチェンセンの「子どもの家」を訪ね、子どもたちと交流をし、楽しい時間を過ごしました。訪問にあたり子どもたちに何かプレゼントをしたいけど…とタイのスタッフに相談したところ、日曜日で全員がそろっているし、日頃おやつを食べる習慣がないので何かおやつになるものが良いのではとアドバイスを受けました。



カートにプレゼントがいっぱい

途中のチェンライ市内で大
型マーケットに寄り、あれこれ
と迷いながらもチョコレートが
たっぷりかかったドーナツと
甘いチョコレート味の牛乳を
それぞれ70個、さらに数種類
のくだものを選びました。

「子どもの家」はチェンライ県チェンライ市から北に60kmほど離れたところに位置しています。ラオス、ビルマ(ミャンマー)との国境が重なるゴールドトライアングルに隣接しており、すぐ近くにビルマとの国境の町メーサイがあるため、この地域には国境を越えて移動してきたストリートチルドレンが数多く存在しています。「子どもの家」では現在、1歳から13歳までの67人の子どもが生活しています。両親が麻薬中毒であるケースが多く、胎児の時から麻薬の影響を受けて育った子どもも少なくありません。生後も十分な栄養

を取ることなく、ストリートで物乞いをする生活を余儀なくされたことなどもあり、感染症の感染率の増大、発育の遅れなどの課題も抱えています。

「子どもの家」に保護され毎日3食の食事をしっかりとるようにしても、すぐに発育状況が改善するわけではないため平均的な身長・体重を大きく下回っているのが実情です。

子どもたちは私たちの到着を、首を長くして待っていたようです。全員が飛び出してきて、ホールでゲームや歌で楽しく交流をしました。昼食後のおやつの時間には、私たちの持参したおみやげを目を輝かせながら本当においしそうに食べていました。



ゲームで楽しく
盛り上がりました



キルトとアンパンマン人形のプレゼント

「子どもの家」の子どもたちに日本のキルト制作グループからご寄付いただいたキルトとアンパンマン人形を届けました。

ご寄付くださったのは「支援キルトの会ふーぷ」「ABCキルト川崎」そして北海道の「QUILT SESSION」の3つのグループです。

キルトも人形も子どもたちに大人気でした。アンパンマン人形はマントが取り外せるようになっており、外したり着けたりとさっそく遊びました。アンパンマンは以前、タイでも放映されていたことがあるようです。

子どもたちにとって、手作りの人形やキルトは最高の贈り物となりました。

ご寄付くださった皆様、ありがとうございました。



「おなかいっぱいプロジェクト」とは？

「おなかいっぱいプロジェクト」は空腹を満たすことだけが目的ではなく、世界中のすべての子どもたちが「食」を通して心身ともに豊かに成長することを目的としています。

今年の「おなかいっぱいプロジェクト」の支援先はアーサーパッターナデック財団が運営するチェンセン「子どもの家」に皆様からのご寄付を送りました。

ここで暮らしている子どもたちのほとんどは、ミャンマーから国境を越えて移動してきた子どもたちです。幼くして親に捨てられたり、物乞いを続けていくうちに「自分に生きる価値が無い」と思い込んでいるような子どもたちも多くいます。「食」を通して気持ちを豊かにすることで自分の尊厳を回復できるようになれば良いと思っています。そして将来的には子どもた

ちが麻薬や人身売買などに引き込まれないような環境を作り出していきたいと私たちは考えています。



スタディツアーで訪問した時に、「子どもの家」の責任者と子どもたちの食事に関する話をしました。AWCからの支援で子どもたちがこれまでより栄養のある食事がとれるようになったと、とても感謝されましたが実情はまだまだ大変なことも分かりました。ここで暮らしているのは現在67人の子どもたちです。子どもたちの毎日の食事に加えて、この施設出身で全寮制の学校に行っている15歳～20歳までの子ども64人が長期休暇中に戻ってくると、その期間は131人分の食事が必要となります。一食の予算は約30円ですが、それでも年間約300万円近くが必要となります。肉などのたんぱく質を取るのは経済的に困難な状況ですが、「子どもの家」では現在、試験的に養鶏事業を行っており、この事業で得られる卵は子どもたちにとって良質な栄養源となっているようです。

子ども達の状況がもう少し良くなるように、私達もさらに協力事業に力を入れていかなければならないということ強く感じました。



みんなそろっていただきまーす！」



支援の輪が広がっています

南関東地区ガールスカウトギャザリング @山梨

2010年9月18日、東京都・千葉県・神奈川県・山梨県の一都三県のガールスカウトが「一緒なら世界を変えられる」をテーマに話し合う「南関東地区ガールスカウトギャザリング」が山梨県の八ヶ岳少年自然の家で開催され、マリ代表が“おなかいっぱいプロジェクト”の話をさせていただきました。

約110人のガールスカウトのメンバーがメモを取りながら講演を聴き、たくさんの質問も寄せられ、熱気のこもった会でした。

リーダーとなる高校生を中心に集めた書き損じはがきもご寄付いただきました。



チェンマイでも寄付をいただきました！

チェンマイでゴルフを楽しむ日本人コミュニティー「チェンマイゴルフ狂クラブ」は、タイで楽しく生活したり、ゴルフをしたりするとともに、タイにも出来る範囲で是非貢献したいという方々の集まりです。会員はチェンマイ在住者にとどまらず、他県やマレーシア、シンガポール、香港、日本など幅広く、今回は池ポチャやワンオンはずしなどのペナルティを寄付金として集め、月例会などの会費の一部とともに「まんぷく基金」にご寄付いただきました。ご寄付は、1ページで紹介したドーナツの購入にも使わせていただきました。



チェンマイゴルフ狂クラブの皆さんと

また、アラスカでオーロラや自然の写真を撮っている写真家・松本紀生を応援する会からもご寄付をいただきました。

おなかいっぱいキャンペーン @ 仙台

2010年9月11日(土) 仙台のウルスラ幼稚園で、昨年に続きハビタットフレンズ仙台がおなかいっぱいTシャツを販売して下さいました。活動について先生方からもご理解いただき、今年で3回目の恒例の行事となり、多くの方に「おなかいっぱい・キャンペーン」を知っていただくことができました。

また、フェアトレード品の販売にご協力くださっているビーズ作家「crystalbeans加藤れい」さんをはじめ、多くの方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。



幼稚園のバザーで多くの方におなかいっぱいTシャツを紹介

今年も「おなかいっぱいTシャツ」キャンペーンを実施しました！！

一昨年からスタートした「おなかいっぱいTシャツ」キャンペーンを継続中です。一枚1000円のTシャツを買っていただくとチェンセン子どもの家の子どもたちの15食分の食材費補助ができます。

また、2011年には新しいデザイン・色でリニューアルの予定です。デザインをしてくださっている「もたい ひでのり」さんのイラストは、やさしく温かく子どもたちへの愛情いっぱい、大好評です。デザイン・色・サイズもいろいろあります。遠方の方には郵送いたしますので、ぜひご協力ください。詳しくは事務局までお問い合わせください。



ご協力いただいた皆さま

(2009年12月～2010年11月)

◆書き損じはがき・切手など◆

秋山洋子 浅野さとみ 朝廣玲子 東幸子 阿部潔 阿部由紀子 飯窪利長 五十嵐三枝子 池谷朋子 伊藤喜代治 伊藤康子
稲葉まり 乾哲夫 茨木夢子 今井忠三 岩井要 岩瀬教子 岩瀬佳子 上杉睦子 内田淑子 浦田知寿子 遠藤早苗 大久保佳代
大久保絹子 大河内妙 大槻裕美 大橋真理子 大見眞通 岡田靖子 岡部あきよ 岡部淑夫 落合一雅 加藤一巳 加藤弘子
金子セツ子 川口やよい 川口幸博 川野安子 川辺次郎 菊池辰郎 菊池幸江 北爪一夫 北野圭子 北村雅美 橋田和子 木村吉男
沓掛典子 久保征夫 熊谷真也 栗原麻里 河野みずゑ 小作千代 小林千恵子 小谷中敦子 佐々木みき 佐藤かず子 佐野せつ子
沢倉知 柴田アヤコ 柴田美也子 洪井利子 嶋岡由史 恵津子・ジュリエットローズ 城田美津子 進藤志げ子 末光長雄 菅波幹雄
鈴木勇 鈴木弘子 須藤江美子 関谷五子 関屋裕子 高品都 高安照代 田口美恵子 武井晴子 武井雅子 只野佳世 巽司
田中哲夫 田中有子 谷本賢治 茶木一城 津田厚子 常岡保洋 戸塚和枝 都丸えり子 富岡軍司 富田夏音 中田久美 中根康代
中村田鶴子 仁藤里香 橋本明 蓮尾美代子 長谷信子 原田幸子 比企しずか 福島郁子 藤井瑛子 星野易重子 堀江昭 松元宙子
馬淵信彦 間宮かおる 三宅マサヨ 宮本知枝 三輪喜久子 村田順子 榎山正行 山口秀子 山口文子 山崎範子 山田優子
山本久美子 弓田美穂子 渡辺和美 渡辺京子 安藤芳子 落合貴美恵 山本博子 アートフォーラムあざみ野 インターアクトクラブ
ウルスラ幼稚園(株)格付投資情報センター 共同オフィス(財)献血供給事業団 小箱かのんショップ&カフェ チェンマイゴルフ狂クラブ
東新プラスチック株式会社 ハビタットフレンズ仙台 ガールスカウト山梨県支部

◆まんぷく基金◆

青井弘之 青山佳子 秋山洋子 朝廣玲子 阿部潔 石川葉子 伊藤珠江 伊藤康子 今井久子 大濱悦子 小笠原みちよ 尾形登志雄
奥村徹 加川守男 片山恵美子 川口幸博 河本聡子 北爪一夫 楠直子 黒須春美 小島みゆき 小島泰 齊藤徹 酒井ユリ子
佐々木律 佐藤志津子 重原文明 柴田純一 柴田美也子 洪井利子 宿利元子 恵津子・ジュリエットローズ 神保隆二 関子誠子
諏訪葉子 関屋裕子 高品都 武井雅子 竹内知珠子 田中伸明 津田恵 寺尾和子 中村田鶴子 苗代碧 西川久久 原幸一 原輝美
福島郁子 藤田真佐江 古田基純 松井明子 松本良子 間宮かおる 三坂尚子 三宅マサヨ 三好慶子 武藤勝司 村田順子
百崎玲子 矢ヶ崎佐和子 山口秀子 山本久美子 山本典子 山本美恵子 吉岡啓子 渡辺和美 写真家・松本紀生を応援する会
チェンマイゴルフ狂クラブ ガールスカウト山梨県支部

◆現地協力◆

原梓 出羽明子 富田紋子 アーサーパッターデッキ財団 ミラー財団

◆スタディツアー・仕分け作業・バザーなど◆

篠原大作 永山愛 仁藤里香 入口栄次郎 角田聡美 田辺烈 牧孝 原梓
原幸一 福井友子 永井恭枝 金子安男 廣島みどり 山本佳世 安藤明美
山方保子 林田そう太 安藤芳子 山本博子 落合貴美恵 マリ・クリスティーン
広末美紀 川崎伊織 赤嶺恵理 宮本亜矢子 藤田美江子 板垣慈 雨宮陽子

★Special Thanks★

もたいひでのり 清水雅子 横浜AIDS市民活動センター

*お名前間違いなどございましたら、事務局までお知らせください。



皆様 ありがとうございます。これからもよろしく願い申し上げます。

送金報告(2009年11月～2010年11月)

チェンセン「子どもの家」を運営管理しているアーサーパッターデッキ財団に30万円を送りました。

また、チェンマイゴルフ狂クラブからの寄付をスタディツアーの時に届けたドーナツやくだもの代に使わせていただきました。

引き続きご協力ください。

2007年12月に「おなかいっぱいキャンペーン」を開始し、これまでに約50,000枚を超える書き損じはがきのご寄付を頂きました。同封していただいた未使用切手も大切にに使わせていただいています。

新しい支援先でも、ストリートチルドレンの子どもたちの健康のために栄養バランスを考えた食事が提供できるよう、今後も引き続き、書き損じはがき(未投函の官製はがき)の募集を行います。また、一口500円の「まんぷく基金」にもご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

書き損じはがき・切手の送り先: アジアの女性と子どもネットワーク
〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F YAAIC内
まんぷく基金振込先: 郵便振替 口座番号:00200-0-4109 口座名:AWC
*1口 500円(何口でも可) *「まんぷく基金」と明記してください。

編集・発行

編集: 原梓、牧孝、安藤芳子、落合貴美恵

発行責任: 山本博子



アジアの女性と子どもネットワーク(AWC)

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町3-39尾上町ビル9F YAAIC内

Tel/Fax: 045-650-5430

E-mail: awc@h6.dion.ne.jp

URL: <http://www.awcnetwork.org/>